

串間温泉いこいの里

〒888-0008 串間市大字本城987
TEL 0987-75-2000 FAX 0987-75-2280
営業時間：午前10時～午後10時
定休日：毎月第3水曜日

風呂の日イベント開催中！

毎月第3日曜日は「風呂の日」。入浴利用者全員に次回以降利用できる100円割引券を進呈、レストランもお一人様100円割引きでご利用できます。

さらに入浴者を対象に、季節に応じた特別商品をはじめ無料入浴券や割引券があたる抽選会を開催しています。もちろんポイント2倍サービスも実施中です。

また「風呂の日」は女湯のみ「バラ風呂」を実施。さわやかな香りが好評です。ぜひお試しください。

「蟹々三昧」3月開催決定！

焼き蟹、蟹すき、ポイル蟹などなど、週末限りでご提供。詳細は次回のこの紙面にてお知らせします。どうぞご期待ください。

イベントのお知らせ

いこいの里ニュース

もちつきを楽しみました

元日はもちつきを行いました。用意したもち米2升を、親子連れのお客さんなどが代わるがわる楽しそうについていきました。つき上がったもちはきな粉もちにして訪れた皆さんに振る舞い、たいへん好評でした。

お正月3日間で延べ約4,500人の利用者が初湯を楽しみました。



今月の表紙

平山英樹・亜矢子さん ご夫妻 HIRAYAMA hideki, ayako



北方地区・初田にお住まいの平山英樹さん(40歳)、亜矢子さん(37歳)ご夫妻。英樹さんは本城平郵便局に勤務し、4月から局長を務めています。「今は子どもの成長が楽しみです」と話すお2人。休日はお子さんの野球の試合の応援に足を運ぶことが多いそうです。「2月から12月くらいまで、ほぼ1年を通して野球の練習試合や遠征、公式戦があるからけっこうたいへんなんです。たまにはゆっくりと家族旅行にでも行ってみたいんですけどね」と笑顔で話すお2人でした。

FROM EDITOR'S

成 人式会場に写真を撮りにカとウと一緒に出向いた。フアインダー越しの成人たちは希望に満ち輝いている。成人の倍以上も生きてきた私は今も輝いているか。失った輝きを取り戻し、いつまでも若々しくありたいと思う1日だった(ス)

国 道448号は見どころが多く、次は自転車で走ってみようかと思案中。風を切って海岸線を走ればきっと気分爽快。ただし起伏の多い道は体力も必要。僕の体力では、わき目もふらずただ必死にペダルをこぐだけになりそう...(カ)

福 島高校インターアクト部が結成された平成4年3月、僕は福高を卒業した。後輩たちのすばらしい活動を勝手ながら誇りに思う。今回の掲載が、後輩たちの活動を市民の皆さんが少しでも理解してくれることにつながるとうれしい(ウ)

学

問に入らば大いに学問すべし。
農たらば大農となれ、商たらば大商となれ」
(出典：『学問のすすめ』福沢諭吉)

やるからには、ドーンとやれ！二度とない人生。亡き父の教えと同じだ。

新春1月2日、本城中の同窓会があった。卒業生名簿にはないのに、幹事の粋な計らいで参加することができた(本城中3年の夏、親元を離れ、宮崎の中学校へ転校したからだ)。「何言うちよつとね。みんな同級生じゃがあ」幹事の言葉に胸がキュンとなった。みな年輪を重ね、容姿ははなはだ変わってしまったが、心は中学時代へタイムスリップした。

恩師にもお会いすることができた。ふるさとと友を心から誇りに思う。感謝です。

さて、冒頭で書いた私の父は、海の男であった。進水式で大漁旗をひるがえし、餅をまく父の姿は凛々しくまぶしかったものだ。小さいころ、よく船で連れて行ってくれた大海原。そこに身をおくと、何でもやってのけられそうな大きな気持ちになったことを記憶している。だから、海が大好きだったし、海とともに生きている父が大好きだった。

ふるさとの海、山、川、脈々と流れる悠久の歴史、先賢たちはくしまの貴重な教育資源である。子どものころの自然体験は後の人生を大きく左右するし、父親の後ろ姿は人生の基調ともなる。

ところで、テレビやインターネットなどあちこちで、くしま学を見聞きする。子どもたちや地域の方が喜びや誇りを味わっておられるシーンは感動的だ。井の中のかわずになることなく、高い志を持って挑戦する精神を讀え、ともに伸びようとする心を育

自分さがしの旅

てることが「くしま学」の神髄であろう、と思っている。くしま人みんなで「くしま人としてのアイデンティティー」を確立してほしいと心から思っている。

人は生きていればさまざまな環境に遭遇する。子どもたちにはぜひともよき師、よき友が人生の宝であることを体感してほしいと願う。

なりたいたい自分、よりよき人生の実現のためのツールは、夢・目標を持つことだ。

的確な目標設定とそれを効果的にコーチすることが人の成長を後押しする。そのコーチ力がよき師となるわけだ。それは父母兄弟であったり、恩師であったり、先輩であったり、友であったりする。

地元の中学、高校を卒業することができず、今も串間を離れてしまっているが、ふるさと串間を忘れたことはない。

私は、人生で唯一かけがえのないことは「社会貢献」と「行動する信念」と思っている。誰かのためになっているという自信や誇り、一番身近な家族愛こそがこの世に生きた証である。これからも常に挑戦する意志を忘れることなく、感謝の心を持って、「自分さがしの旅」を続けていきたいと思っている。

※アイデンティティー＝個物や個人がさまざまな変化や差異に抗してその連続性、統一性、不変性、独自性を保ち続けることをいう(日本大百科全書)



Profile

うえだひとみ(54歳)／1955年8月生まれ。串間市田出身。教職経験30年となる。延岡市立名水小教諭をふりだしに、赤池小、吾田小、福島小、北郷小、県教育庁児湯教育事務所、教育企画室、山田小教頭、県教育庁学校政策課、有明小校長、現在児湯教育事務所教育推進課長。長女と宮崎市に在住。モットーは真心信頼燃える日々!!



▲本城干潟に沈む夕陽。中学生のころ、夕陽を見ながら家路を急いだ。

随想◎上田ヒトミ

くしま
読者
プレゼント

お便りをくださった方から抽選で、「釜めし」と「豆乳鍋」セットのお食事券を25名様にプレゼント。
応募締切は2月26日(金)当日消印有効です。

串間市役所総合政策課
情報政策係 行

(No.856 /2010.2)

POST CARD

888-8555

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ

年齢／ 歳 性別／ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎抽選で25名様にプレゼント致します。
串間温泉いこいの里 お食事券